



## 香川県内民間企業の2019年冬季ボーナス支給見込み アンケート調査結果について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）では、香川県内に本社または主工場をもつ民間企業 545 社を対象として、2019 年冬季ボーナスの支給予想について、アンケート調査を実施しました。

161 社から有効回答（有効回答率 29.5%）があり、その調査結果をまとめましたのでお知らせします。

### 【調査要領】

調査対象	香川県内に本社または主工場をもつ民間企業：545 社
調査方法	郵送、Webによるアンケート方式
調査時期	2019年11月26日～12月16日
回答状況	有効回答企業数：161 社 有効回答率：29.5%

調査委託先 一般財団法人 百十四経済研究所

# 香川県内民間企業の2019年冬季ボーナス支給見込みアンケート調査結果

## 概要

- アンケート回答企業における今年冬のボーナス1人当たりの支給見込み額は、537千円となった。
- 今回アンケートで調査した企業の支給スタンスは、「引き上げ」とした企業が全体の31.1%であった。また、「引き上げ」とした理由として、「従業員のモチベーションアップ」が68.0%と最も高かった。

## ～回答企業の3割超が「引き上げ」を実施するも支給額は昨年度比減少～ 調査結果の内容

### 1. 支給見込み額

昨年度と比較可能な企業161社の全業種1人当たり平均支給額は、537千円となり、前年同期比3.42%、金額で19千円減少した。平均支給月数は、2.04ヵ月で、前年同期比5.12%減少した。

業種別にみると、製造業は、553千円（前年同期比5.79%、金額で34千円減少）となった。そのうち、基礎素材型は、629千円（前年同期比3.08%、金額で20千円減少）、加工組立型は、592千円（前年同期比11.51%、金額で77千円減少）、生活関連型は、238千円（前年同期比3.03%、金額で7千円増加）となった。

非製造業は、525千円（前年同期比1.13%、金額で6千円減少）となった。そのうち、建設業は、719千円（前年同期比1.24%、金額で9千円減少）、卸売・小売業は、477千円（前年同期比4.61%、金額で21千円増加）、運輸業は、433千円（前年同期比4.42%、金額で20千円減少）、サービス業等は、395千円（前年同期比変わらず）となった。

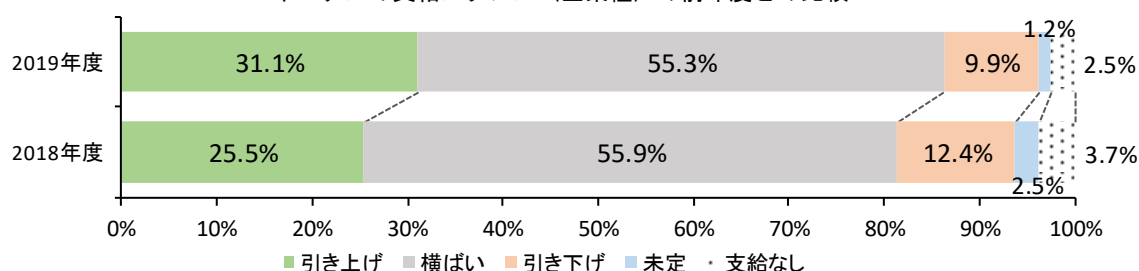
冬季ボーナス支給見込み額の前年比較（161社）

業種	1人当たり 平均支給額 (千円)	対前年比		1人当たり平均 支給月数 (ヵ月)	対前年比 増減率 (%)	平均 支給年齢 (才)
		増減率 (%)	差額 (千円)			
全業種	537	△ 3.42	△ 19	2.04	△ 5.12	41.0
製造業	553	△ 5.79	△ 34	2.09	△ 9.52	39.9
基礎素材型	629	△ 3.08	△ 20	2.33	△ 12.73	39.3
加工組立型	592	△ 11.51	△ 77	2.30	△ 0.86	39.5
生活関連型	238	3.03	7	1.07	△ 0.93	42.6
非製造業	525	△ 1.13	△ 6	1.99	△ 0.50	41.9
建設業	719	△ 1.24	△ 9	2.77	4.14	40.8
卸売・小売業	477	4.61	21	1.87	3.31	41.4
運輸業	433	△ 4.42	△ 20	1.91	1.60	43.5
サービス業等	395	0.00	0	1.64	△ 6.82	41.6

支給スタンスを「引き上げ」とした企業が全体の31.1%を占めるものの、全業種の1人当たり平均支給額は、3.42%（金額で19千円）減少している。

背景として、生活関連型やサービス業等など、相対的に1人当たり平均支給額の低い企業の「引き上げ」とした割合が高かったことに加え、従業員300人以上の大手企業の前年比支給額総額が減少したことが全体の支給額を引き下げているためである。

ボーナスの支給スタンス（全業種）の前年度との比較



## 2. 支給スタンス

業種別で支給スタンスをみると、「引き上げ」とした企業は、製造業が31.5%で、そのうち加工組立型が40.0%と最も高くなっている。非製造業は30.7%で、そのうち卸売・小売業が39.1%と最も高くなっている。

支給スタンスを「引き上げ」とした理由は、全業種で「従業員のモチベーションアップ」が68.0%と最も高くなっている。業種別では、製造業は、生活関連型が87.5%と最も高い。非製造業は、建設業と卸売・小売業が66.7%で最も高くなっている。

「業績好調」以外に「従業員のモチベーションアップ」や「雇用の維持・確保」といった従業員に配慮する経営者の姿勢がうかがえる。

昨年度同期比でみた冬季ボーナスの支給スタンス

業種	引き上げ	横ばい	引き下げ	未定	支給なし
全業種	31.1%	55.3%	9.9%	1.2%	2.5%
製造業	31.5%	53.4%	12.3%	1.4%	1.4%
基礎素材型	25.9%	59.3%	14.8%	0.0%	0.0%
加工組立型	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%
生活関連型	30.8%	50.0%	11.5%	3.8%	3.8%
非製造業	30.7%	56.8%	8.0%	1.1%	3.4%
建設業	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	39.1%	43.5%	13.0%	0.0%	4.3%
運輸業	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業等	29.5%	54.5%	9.1%	2.3%	4.5%

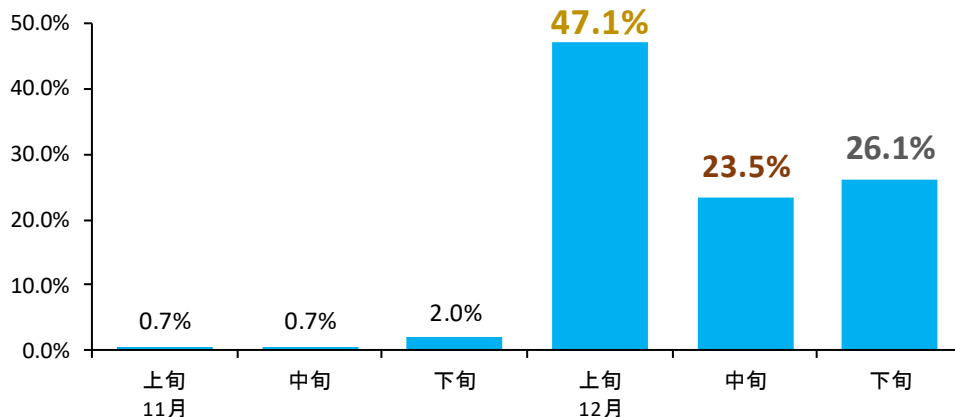
支給スタンスを「引き上げ」とした理由（複数回答）

業種	業績好調	景気動向	組合要求 労使間協議	同業他社 の水準	雇用維持 確保	物価の動き	従業員 モチベーションUP	その他
全業種	54.0%	0.0%	16.0%	2.0%	38.0%	0.0%	68.0%	6.0%
製造業	47.8%	0.0%	13.0%	4.3%	47.8%	0.0%	73.9%	4.3%
基礎素材型	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%
加工組立型	50.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	75.0%	0.0%
生活関連型	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%	62.5%	0.0%	87.5%	12.5%
非製造業	59.3%	0.0%	18.5%	0.0%	29.6%	0.0%	63.0%	7.4%
建設業	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
卸売・小売業	66.7%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%	66.7%	0.0%
運輸業	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
サービス業等	46.2%	0.0%	15.4%	0.0%	30.8%	0.0%	61.5%	15.4%

### 3. 冬季ボーナスの支給時期

冬季ボーナスの支給時期は、12月上旬が47.1%で最も高く、次いで12月下旬が26.1%、12月中旬が23.5%となっている。

冬季ボーナスの支給時期



### 4. 調査概要

【業種別回答数及び構成比】

業種	回答社数	構成比
全業種	161	100.0%
製造業	73	45.3%
基礎素材型	27	16.8%
加工組立型	20	12.4%
生活関連型	26	16.1%
非製造業	88	54.7%
建設業	11	6.8%
卸売・小売業	23	14.3%
運輸業	10	6.2%
サービス業等	44	27.3%

【ボーナスアンケート調査概要】

- ①調査時期：2019年11月26日～12月16日
- ②調査方法：郵送、Webによるアンケート方式
- ③調査対象：県内に本社または主工場をもつ民間企業545社
- ④有効回答率：29.5%（有効回答企業数：161社）

【7業種区分】

製造業	
基礎素材型	木材・木製品製造業(家具を除く)、パルプ・紙・紙加工品製造業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業
加工組立型	はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業
生活関連型	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、家具・装備品製造業、印刷・同関連業、なめし革・同製品・毛皮製造業、その他の製造業
非製造業	
建設業	総合工事業、建築業、土木業、職別工事業、設備工事業
卸売・小売業	飲食品、一般商品、繊維・衣料品等、建築資材、金属材料、機械器具等の卸売・小売り
運輸業	陸運、海運、空運、倉庫業、荷役業ほか
サービス業等	情報通信業、不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育学習支援、医療・福祉、機械整備ほか

(百十四経済研究所 後藤)